

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		食品開発科学科		
科目名称	人間形成論					授業形態	講義		
科目コード	111610	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	植村 秀人								
授業概要	本授業は、日米の比較をテーマとした新書を教科書として選定し日米の比較から、人間形成を理解することを目指します。								
関連する科目	教養科目のため特に事前に履修すべき科目は指定しない。 ただし、社会全般への興味関心を高めることなどの取り組みを期待したい。 また、担当者は、教職課程受講希望者の受講を推奨したい（免許取得科目でないが参考となる学習となるよう留意したい）。								
授業の進め方 と方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目は、講義を中心とする。 2. 講義の中には、学生からの問題提起型の講義を行う。 <ol style="list-style-type: none"> (1) テキストに関して報告者（話題提供者）が話題を提供する。 (2) 報告者からの話題提供に対して、他の受講者からの意見交換をする。 (3) (2)を踏まえ、講義担当者から解説や疑問点の講義などを行う。 								
授業計画 【第1回】	「はじめに」 授業の位置づけなどについて説明を行う。								
授業計画 【第2回】	「問題提起型講義の事前調整」 テキストの紹介、選定意図、話題提供者や日程の調整などを行う。								
授業計画 【第3回】	講義1 「人が成長することについて1～大人になるとは何か～」 子ども時代の変化について簡単に説明する。								
授業計画 【第4回】	講義2 「人が成長することについて2～大人になるとは何か～」 人の成長について歴史的な経過について簡単に紹介する。								
授業計画 【第5回】	講義3 「人が成長することについて3～学校の登場について～」 人の成長について学校が登場したことの意義について紹介する。								
授業計画 【第6回】	問題提起型授業1 「テキスト第1章 前半」 テキスト第1章の(1)について、話題提供と議論、担当者からの講義。								
授業計画 【第7回】	問題提起型授業2 「テキスト第1章 後半」 テキスト第1章の(2)について、話題提供と議論、担当者からの講義。								
授業計画 【第8回】	問題提起型授業3 「テキスト第2章 前半」 テキスト第2章のうち前半の(1)および(2)について、話題提供と議論、担当者からの講義。								
授業計画 【第9回】	問題提起型授業4 「テキスト第2章 後半」 テキスト第2章の残りについて、話題提供と議論、担当者からの講義。								
授業計画 【第10回】	問題提起型授業5 「テキスト第3章」 テキスト第3章について、話題提供と議論、担当者からの講義。								
授業計画 【第11回】	問題提起型授業6 「テキスト第4章」 テキスト第4章について、話題提供と議論、担当者からの講義。								

授業計画 【第12回】	問題提起型授業7 「テキスト第5章」 テキスト第5章について、話題提供と議論、担当者からの講義。
授業計画 【第13回】	問題提起型授業8 「テキスト第6章」 テキスト第6章について、話題提供と議論、担当者からの講義。
授業計画 【第14回】	講義4 「人間形成のゴールの延長～生涯学習について～」 人間形成のゴールが延長したこと、生涯学習の視点が重要になったことを学ぶ。
授業計画 【第15回】	「おわりに」 講義全体をまとめる
授業の到達目標	① 子どもの概念のあり様や変化について理解する。 ② 社会がむける子どもへの視野や子どもへの働きかけを理解する。 ③ 子どもにとって重要な学校についてその始まりや重要性について理解する。 ④ 子どもが置かれている現状について理解する。 ⑤ 人の生き方が多様化し、常に学び続けるようになることを理解する。
学位授与の方針 (DP)との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)
授業時間外の学修 【予習】	テキストを読む（1時間程度） 担当する話題提供部分に関して読みこみ、資料を作成する（1時間程度）
授業時間外の学修 【復習】	授業をまとめる（1時間程度） 最終レポートの構想（1時間程度）
課題に対する フィードバック	授業の感想などについては、最終回にフィードバックする。
評価方法・基準	授業ごとの感想シート 30点 報告（話題提供） 40点 授業への参加状況（意見交換への参加を含む） 20点 最終レポート 10点
テキスト	テキストおよび配布資料を用いる テキスト 恒吉僚子著「人間形成の日米比較—かくれたカリキュラム—」中公新書
参考書	田中克佳 教育史 八木透 日本の通過儀礼 鳥越皓之 「サザエさん」的コミュニティの法則 磯田道史 武士の家計簿 加野芳正 新しい時代の教育社会学 佐藤晴雄 生涯学習概論 木村元 日本の学校受容 片桐芳雄・木村元 教育から見る日本の社会と歴史
備考	授業ごとの感想および最終レポートは、ユニバーサルパスポートから投稿する。